



AKATSUKA グリーン通信

Green Communication

vol.196 2015.7月号

幸せを呼ぶタイの宝石

アグラオネマは熱帯アジア原産のサトイモ科の植物で昔から観葉植物として親しまれてきましたが、近年タイで品種改良が進み、以前では考えられないような葉色の美しい品種が次々と登場し、爆発的なブームを巻き起こしています。もともとタイでは「幸せを呼ぶ植物」として人気が高く、多くの人々に愛されてきましたが、新品種のおかげで注目を集め、その人気に拍車がかかっています。さらに入手しやすくなつてきました。アカツカでは、現地のタイ農場を経由して優良な苗木を輸入し、日本国内での販売を行っています。

よく似た観葉植物にディフエンバキアがありますが、アグラオネマは赤系の発色に特徴があります。品種によって配色の割合は様々ですが、葉にモザイク状に赤やピンクの色彩が混じったり、葉の縁が光沢のある赤色に色づいたり、またある品種では葉柄や茎が透き通るようなピンクに発色したりなど、こんなにカラフルな観葉植物は今まで見たことがありません。まさにその美しさは生きた宝石と言つても過言ではないでしょう。

アグラオネマは熱帯アジア原産のサトイモ科の植物で昔から観葉植物として親しまれていますが、近年タイで品種改良が進み、以前では考えられないような葉色の美しい品種が次々と登場し、爆発的なブームを巻き起こしています。もともとタイでは「幸せを呼ぶ植物」として人気が高く、多くの人々に愛されてきましたが、新品種のおかげで注目を集め、その人気に拍車がかかっています。さらに入手しやすくなつてきました。アカツカでは、現地のタイ農場を経由して優良な苗木を輸入し、日本国内での販売を行っています。



よく似た観葉植物にディフエンバキアがありますが、アグラオネマは赤系の発色に特徴があります。品種によって配色の割合は様々ですが、葉にモザイク状に赤やピンクの色彩が混じたり、葉の縁が光沢のある赤色に色づいたり、またある品種では葉柄や茎が透き通るようなピンクに発色したりなど、こんなにカラフルな観葉植物は今まで見たことがありません。まさにその美しさは生きた宝石と言つても過言ではないでしょう。

**耐陰性で乾燥に強い！
生長も遅く手間いらず**

こんなに美しい植物なのに、丈夫で管理が簡単なもののがたいところです。ジャングルの中に生えている植物なので耐陰性が強く、窓辺でなくても、ある程度明るい室内であれば元気を保ちます。さらに意外なほど乾燥に強いのも嬉しい特長で、土がカラカラに乾いてもすぐに萎れることもなく、数日間は耐えてくれます。高温多湿を好むといわれていますが、むしろ用土がいつも湿つていると根腐れを起こし、枯れてしまうことがあるようです。実は現在アグラオネマに使用している用土は「コピート」といつて、ココヤシの殻を碎いたものなのですが、軽くて清潔なだけでなく、排水性と通気性が良く、アグラオネマにピッタリなのです。



もう一つ、生長が遅いのも大きな特長で、長く現在のサイズを保つてくれるのも、ありがたいところです。通常は植物が成長してくれるのは嬉しいことなのでですが、室内のインテリアとして観葉植物を考えると、あまりぐんぐん大きくなれるのも困ったものでしょう。その点アグラオネマは生長がゆっくりなので、植え替えあまり必要なく、手間がかかりません。(もし植え替えが必要となつた場合、一般的の培養土は避け、ブロック状のココピートがオススメです。)

寒さには弱いのですが、最近の住宅であれば暖かい室内で乾かし気味に管理すれば越冬はそれほど難しくないでしょう。5月頃に暖かくなつてきてから水量を戻してやれば、元気になつてきます。

文/グリーンアドバイザー 倉林雪夫

